

— 支援費制度の児童デイサービス —
 全国発達支援通園事業連絡協議会
 東海大会開催

去る、6月26日～27日にかけて、全国発達支援通園事業連絡協議会の東海大会が開催されました。障害児通園施設が支援費制度の児童デイサービスに位置づけられている中での大会には、全国から多くの事業者が参加、様々な問題提起が出されました。中でも、児童デイサービス独自の事業について多くの問題が出されていました。

①採算性が合わない。今の児童一人当たりの介護単価ではデイサービス時間を3時間以上行うことは苦しい。②まして土曜日の1日デイサービスを行うなどはもってのほかで、午前、午後と分けている。③支援費の居宅事業とをからませて何とか採算を取っている。④遠足は長時間でスタッフも多くいるので中止をしている。と、いう報告がされていました。このような意見は特別なお話ではありませんでした。子供達や家族が必要とする支援を、制度上では今支え切れないのが実情です。

この実情を、制度上で変えていかなければ、せっかくの支援費制度も絵にかいた餅です。

NPOとしての活動

当会での事情も、勿論同じですが、NPOとして、あえて採算性の合わない所への挑戦をしなければならないと、土曜日は勿論、遠足も自主活動も行っています。しかし、それでも、既に夏休みの利用についてお母様方のニーズには添えないのです。当会は、通常午後3～午後7時。土曜日は10時～午後5時まで開所しています。夏休みだけ、1日にすることが出来ず、当会ではこの午前を、支援費の居宅を使ったサービスにはつなげず、レスパイトサービスで有償の活動で行います。制度の一刻も早い改革を願わずにはられません。(まごころ児童デイサービス内容は、別紙児童デイニュースをご覧ください)

《まごころ6月児童デイサービス》
 開所日・17回/延べ利用者数・126人

— 二級ホームヘルパー —
 養成研修講座閉講

受講生から・・・
 学ぶことで人に優しくなれた。
 「生きている」とはどういうことなのか考えさせられた。

よりよいヘルパーさん誕生を目指し、三十九名受講生を迎えて開講した二級ヘルパー養成講座がこの程修了しました。三か月前、受講生を前に「ヘルパーでもやってみようか、という方は辞められたほうが良いと思います」とお話しをさせていただき、毎回のレポート提出の義務づけと居眠り禁止と厳しい条件を伝

えました。三か月後、修了式で受講生の皆さんからいただいた感想は、学ぶことへの意欲、介護へのこだわりと深い関心、自身の生き方にまでおよんでいました。高齢社会なのでしょいか。介護について学ぶことが、以前よりずっと身近になってきたことを感じました。皆さんきっといいヘルパー



さんになられると思いました。お世話になりました。講師の先生方、実習させていただきました施設の皆様、在宅へ訪問させていただきました利用者さん、同行訪問を支援下さった他事業所さん本当にありがとうございました。

第11回 総会開催 特定非営利活動法人「尾張地域福祉を考える会 まごころ」

ニーズに即した活動を
 ひとりのための支援を可能にさせる



去る、六月六日(日)当会の第十一回平成十五年の総会が開催されました。平成十五年度の活動・事業・会計報告、十六年度の新規事業を含めた活動・事業(案)及び予算(案)が審議、了承されました。十五年度も、介護保険支援費事業から助け合い活動へ三百六十五万円の補填、以下の助け合い活動の内容を事業が支援してきた内容説明と報告がされました。私達の活動は、「どれだけした」のではなく、「何をしているのか」「何をしようとしているのか」が問題であり一人に向けた支援を実現させるために、ニーズに即した活動を続けていくことが重要であることを確認されました。

【平成15年度活動報告】

- ◆助け合い活動：
 - 在宅サービス(361件・1,762回・3,519時間)
 - 移送サービス(2,100回・ミニデイサービス送迎も含む)
 - ミニデイサービス(101回/利用者960人・延べボランティア・1038人)
 - 「痴呆を考える・大熊由紀子講演会」(参加者・210人)
 - 青少年福祉ボランティア体験学習受け入れ(ミニデイサービス前内中学生・21人)
 - まごころふれあい映画会(参加者・110人)
 - まごころふれあい祭り(参加者・150人)
 - まごころふれあい児童クッキー教室(参加児童・26人)
- ◆定期勉強会：12回/年(協力会員・延べ480人)
- ◆ホームヘルパー養成研修事業：2級講座(受講生・35人)
- ◆市委託講座：家族介護講座/痴呆予防講座/自立支援講座
- ◆介護保険事業：訪問介護(668件/10,591回/14,585時間)
- ◆支援費事業：訪問介護(177件/1,879回/2,312.5時間)



【平成16年度は・・・】

これまでの活動に加え、さらに施しては無い、対等な助け合いが地域に根付いていくよう活動を充実させていきます。在宅や移送サービスは、重要な活動になっていくと思われれます。また、新規事業として、多くの声に応えるべく児童デイサービス事業・精神障害者ホームヘルパー特別養成研修事業・ガイドヘルパー養成研修事業など実施、ニーズに沿う事業を行っていきます。

平成16年度理事・監事紹介

理事が次のように決まりました。今年は、外部からと各活動部門から理事選考を行いました。よろしく願いいたします。

- ◇伊藤和子/愛知江南短期大学社会福祉学科勤務 ◇諫山和敏/移送・児童デイサービス担当
- ◇小野木みどり/支援費担当 ◇川崎ユミ子/介護保険担当
- ◇野田満喜子/有償活動担当 ◇平田和香/代表 ◇水野元子/財務担当
- ◇山田宏子/ミニデイサービス担当 ◇監事/安福栄子・築城基裕

《感謝》この度、Kさんからご寄付をいただきました。大切にさせていただきます。心から感謝申し上げます。